

信州大学人文学部と 連携協定締結

市は、信州大学人文学部（渡辺秀夫学部長）と文化・教育・学術の分野で連携協力する協定書の調印式を10月4日、市内で行いました。

今回の協定は、平成16年に旧穂高町が同学部と締結した協定を市内全域に対象を広げて、より充実した連携・協力をするために締結されました。式には、市と人文学部の関係者など約30人が出席。平林市長と渡辺学部長が協定書に署名をしたほか、穂高地域で行われた活動の報告などが行われました。平林市長は「学・官の交流は、今後大切になってくると思う。大学の力を借り、新しい地域づくりを進めたい」とあいさつしました。

①平成16年、旧穂高町で結んだ協定内容を市として結び直し、さらに連携を深める。

②市章と信州大学のシンボルマーク。

災害時における応急対策を行う 応援に関する協定書調印

市内建設業者と 災害時連携協定締結

市は、安曇野市建設業災害対策協議会（等々力強代表）と9月28日、「災害時における応急対策を行うための応援に関する協定書」の調印式を行いました。

この協定は、大雨や台風などの風水害や地震による災害が発生した際、市内の道路・河川などの施設の応急復旧作業に、業者が持つ建設資機材の提供と会員の派遣をするというもので、同協議会の56社が参加しています。また、災害発生時には、市対策本部が応援要請をし、同協議会から豊科・堀金地域、穂高地域、三郷地域、明科地域の連絡員業者に要請を伝え、会員業者に連絡する体制も整備しました。

③「災害時における応急対策を行うための応援に関する協定書」。④調印後、固い握手を交わす等々力代表（写真左）と市長（写真右）。

市内業者・大学・海外都市 キーワードは交流、連携

災害時の応援・大学との連携・海外都市との交流など
さまざまな分野での連携・交流が始まります。

旧豊科町と姉妹都市提携を結んでいたオーストリアのチロル州にあるクラムザッハを表敬訪問いたしました。

シュテーターガー町長、アウサーホーファー前町長、シューラー友好協会長との会談の中で、20年にわたる交流を安曇野市でも継続すること、交流の内容についても見直すことなど話し合いました。今までの実績もあり、クラムザッハの皆さんは極めて友好的であり、安曇野市および日本に対して親近感が大変強く、今後は文化的交流、青少年交流を柱にしたい旨、また、両自治体の連携の上に立った市民交流という提案があり、同意をい

たしました。さら到来年4月5月ごろクラムザッハから町長さんを含めた親善団の訪問をいただき、安曇野市との姉妹提携の調印式を行うことも合意がなされました。

オーストリアクラムザッハを訪ねて

安曇野市長 平林 伊三郎

旧豊科町のクラムザッハとの交流にかかわっていたいた方々を中心に、全市から市民の皆さまの参加を募り、市を挙げて温かい歓迎ができるように準備を始めます。特に

近郊の町や村にも立ち寄りましたが、チロルはスイス同様の自治体でも観光が基幹産業であり、自然環境を大切にしたいその美しさは素晴らしく、すべての住民がこれにかかわっている様子が感じられました。次回、スイスのサースフェー訪問について報告いたします。

①シュテーターガー町長とクラムザッハ役場内のチロル州自治体章の前で。②前町長アウサーホーファー氏（写真中央）を交えて、今後について話し合う。③役場内で行政スタッフと懇談。④公園で遊ぶ子どもたち。⑤有志グループで作る brass band 隊の歓迎演奏。⑥州都インスブルックのツァッハ市長と面談。

